

# 場面別に見る 急性心筋梗塞患者のケア

## PCI直後の急性期に 注意すべき合併症と 全身管理のポイント



医療法人春林会  
華岡青洲記念 心臓血管クリニック  
看護師長／集中ケア認定看護師  
**村瀬早苗**

1989年看護師免許取得後、リハビリテーション科、脳神経外科、救命救急センター、心臓血管センターCCUなどを経て、2012年集中ケア認定看護師資格を取得。2016年8月より現職。

### 急性心筋梗塞とは

急性心筋梗塞とは、被膜の薄い不安定plaquer（粥状硬化巣）の破綻により、血小板凝集やフィブリン、赤血球の集積による血栓が形成され、冠血流を途絶することで心筋が壊死に陥るもので、血流の途絶と再開を繰り返す病態は不安定狭心症と呼ばれ、急性心筋梗塞の前駆段階と言えます。つまり、急性心筋梗塞と不安定狭心症は一連の病態の段階を示すため、虚血による心臓突然死と共に「急性冠症候群」と称します。

### 治療

虚血傷害心筋を最小限にするためには、一刻も早い再灌流療法が必要です。再灌流療法には「血栓溶解療法」と「経皮的冠動脈インターベンション（PCI）」があります。前者はウロキナーゼや組織プラスミノーゲンアチベータなどを用いて再開通を試みるものですが、PCIと比較

### ポイント

- 急性心筋梗塞のPCI直後の急性期看護の目的は、刻々と変化する病態に適切に対応し、重症化の予防と早期回復を支援することである。
- 心臓ポンプ機能障害の程度や生体侵襲反応、合併症の徴候、投与薬剤の影響などを注意深く観察し、予測性を持って判断し行動することが重要である。
- 心負荷とならないような看護介入のタイミングや方法を選択し、患者を心身ともに安楽な状態に保つことが大切である。

して成功率が低いことや、出血性合併症のリスクが高いため適用が減っています。本稿では、急性心筋梗塞に対するPCI直後の急性期に注意すべき合併症とその看護について述べます。

### 術前の看護ケア

急性心筋梗塞を疑ったら、全身観察・情報収集・処置・検査などを効率よく実施し、診断・治療へと進めます。激しい胸痛を経験した患者は、強い不安や死の恐怖を抱き動搖しています。看護師は落ち着いた態度を心がけ、患者の苦痛・不安に寄り添いながら理解しやすい言葉を用いて説明し、受容を促します。肌の露出を伴う検査は羞恥心や室温に配慮し、末梢静脈路の確保や膀胱留置カテーテルの挿入などは苦痛が最小限となるように行います。表1に急性心筋梗塞患者の看護に必要な情報を示します。これらは、PCI後の看護実践にも有用です。